

テーマ

コロナ禍や災害による〈分断〉を〈つながり〉に －社会福祉実践におけるICTの可能性と課題－

新型コロナウイルスの感染拡大は、福祉がこれまで大切にしてきた「集うこと、交わること」を根底から否定するものでした。また、震災や豪雨など相次ぐ大規模災害は、私たちの平穏な日常を瞬時に奪い、生命や人生の危機となります。

一方、進展著しいICTは、社会福祉においても重要な要素となりつつあり、緊急時の安否確認、IoTによる見守り、オンラインでの面会、専門職間の情報共有、コミュニティ機能維持など、さまざまに模索されています。

本シンポジウムは、コロナ禍や災害などの災禍を見越して、社会福祉実践におけるICT活用の先進事例に学び、これからの展望やさまざまな可能性、そして課題について討議しようとするものです。

- ・ 開催日時 2020年12月19日（土）14：00～17：00
- ・ 開催方法 オンライン（Webex EventsまたはZoom）
- ・ 申し込み方法 フォームズ（当日参加も可）
- ・ 参加費 無料
- ・ お問い合わせ spa3-cdws@toyo.jp
- ・ 事前資料配布 <下記URLにアクセスください>

<https://www.toyo.ac.jp/newslist/research/labo-center/cdws/newslist/>



フォームズ



お問い合わせ

事前資料URL

報告者・内容（仮）

株式会社テンフィートライト 城戸 学氏

「災害発生時の地域コミュニティとICTによる共助」

アイラ株式会社 四ノ宮 力氏

「会津若松市のICTを活用した”みなとチャンネル“のコミュニティ活性化」

長野県社会福祉協議会 長峰夏樹氏

「ICTの活用による災害時要支援者情報を包括的に把握する仕組み」

同 福澤信輔氏

「コロナ禍の中で長野県内で多様な主体とつながりを絶やさないICTの活用の仕組み」

社会福祉法人善光会 統括施設局長 宮本隆史氏

「社会福祉施設におけるICT・介護ロボット等の導入」

コメンテーター

東洋大学・教授／日本地域福祉学会・事務局長／

SPA-3ユニット研究分担者 **山本美香**

東洋大学・准教授／SPA-3ユニット研究分担者 **早坂聡久**

コーディネーター

東洋大学・教授／日本地域福祉学会・関東甲信越静部会担当理事／
SPA-3ユニット長 **加山弾**

総合司会

一般社団法人ORINAS代表／SPA-3 ユニット客員研究員 **小櫃俊介**